



新善光寺 寺報 北 縁

2019年10月 Vol. 41

# ほくえん



特集

「来年は知恩院に行きましょう」

鴨々川ノスタルジア 2019 「ヨガ」

## じゅう や 十夜法要のご案内

十夜法要とは、浄土宗の最も大切な經典の一つ「無量寿經」の中に、  
「此に於て善を修すること十日十夜すれば、  
他方の諸仏国土にして善をなすこと千歳するに勝れたり」  
現代語訳 この世界で十日十夜の間、善行を修めることは、その功德は他の仏の世界で千年にわたって善行を励む功德よりも勝れている。  
とあることに基づく法要です。

11月3日(日) 文化の日

午前11時 法話 → お昼休憩 → 午後1時 法要

(塔婆申込には同封の振替用紙をお使いください)

### 法要に参加してみよう



1 まずお寺に入ります。駐車場は手狭なため車が停められないかもしれません。その際は周りの有料駐車場をお使いください。公共交通機関では地下鉄東豊線「豊水すすきの」駅6番出口がすぐです。



2 受付をすませましょう。



3 塔婆を受け取り、水向け供養をします。お坊さんが付いていますのでご安心ください。



4 法話がはじまります。本堂に行きましょう。



本堂に戻り、法要開始です。

キッズルームを用意しますので、小さなお子様でも安心して連れてきてください。仏教に関する絵本や、DVDがあります。



※本堂は暖房をつけますが、寒く感じるかもしれませんので、当日は暖かい服装でお越しください。  
見どころの多い仏教に親しむことができる法要です。多くの皆様のお参りをお待ちしております。

〈法話〉

「ひとすじの道」

南海教区 高知組 正福寺住職 <sup>さとう</sup>佐藤 <sup>かしん</sup>嘉辰 上人



略歴 昭和 44 年 10 月 18 日生 京都生まれ  
てんびん座 血液型 B 型 在家出身

平成 4 年 3 月 京都佛敎大学 文学部仏敎学科卒業  
硬式野球部 3 年春 4 年春 東京神宮大会出場

平成 6 年 3 月 一念発起し出家・得度 佛門へ  
同時に知恩院職員として御廟で奉職

平成 7 年 12 月 総本山知恩院にて加行満行

平成 14 年 6 月 南海教区発生寺副住職として入寺

平成 29 年 7 月 南海教区正福寺 住職就任

家族構成 ・父（発生寺住職）  
・家内 ・子供 3 人（長女・長男・次男）

新善光寺の十夜法要は“ココ”に注目！！

- ・ **双盤念仏** ～長い節を付ける独特のお念仏を唱えます。
- ・ **太鼓** ～木魚ではなく太鼓でお経を読みます。本堂に太鼓の音が響き渡ります。
- ・ **雅楽** ～笙・龍笛・箏（ひちりき）の三管による優雅な音色が広がります。
- ・ **回向** ～和讃（歌）を唱えてそれぞれお申し込みのお戒名を一霊位様ずつ丁寧に読み上げてご供養いたします。
- ・ **解説** ～法要ではモニターでスライドを使いお経を解説しながら進めます。



過去の法話の様子



みやびな音色が響きます



一年の行事で一番お坊さんが多い法要です

一日限りの特別展示

昨年もお好評いただきました新善光寺所蔵宝物の特別展示ですが、今年も十夜法要に合わせておこないます。前回とはまた違う展示物になると思います。どうぞ、ご覧ください。

展示期間：11月3日 午前9時～午後2時



## 来年は知恩院に行きましょう

新善光寺では、5年に1回のペースで道外への団体参拝旅行をおこなっております。

浄土宗総本山である知恩院の国宝御影堂（みえいどう）の大修理が完了へとむかっております。そこで、このまたとない勝縁に念仏の根本道場の要である御影堂の参拝を中心とした旅行を計画しております。

日程は来年10月初旬に2泊3日の予定で、今回は極力バス移動を少なくして寺院参拝の時間を十分に取れればと思っております。

コースなどは現在、鋭意考え中です。どうぞ、多くのご参加をお待ちしております。（こちらの情報は随時、お知らせいたします。）

### ※御影堂（みえいどう）

その雄大なたたずまいから大殿（だいでん）とも呼ばれ、浄土宗を開かれた法然上人を江戸時代初期からおまつりしてきたお堂です。

## （予定）2020年10月上旬（2泊3日）

### 御影堂 平成大修理

※スケジュールは工事の進捗状況に応じて変更する場合があります。





2019年8月現在の御影堂



### 参拝基本ルート・境内図

- ご到着 ▶ 昇降口（新玄関） ▶ 受付 集会堂 ※現・法然上人御堂 ▶  
 ▶ 国宝 御影堂参拝（別時會・内陣焼香） ▶ 方丈庭園拝観 ▶ ご出発



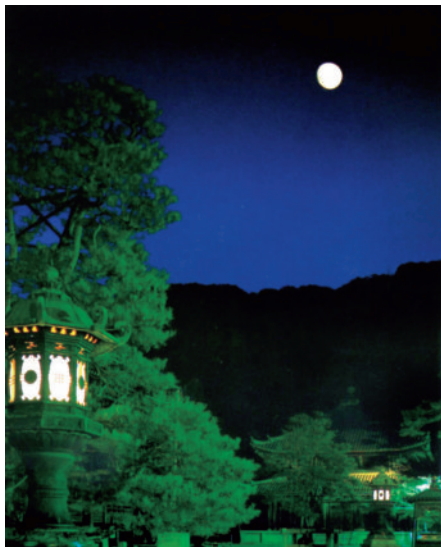
## お月さまと阿弥陀さま

秋はお月さまが美しく夜空に映える季節です。浄土宗の宗歌に「<sup>つきかげ</sup>月影のお歌」があります。宗歌というと耳なじみのない言葉ですが、学校には校歌が、国には国歌があるように、宗派・宗旨をあらわすお歌として浄土宗では法然上人（1133～1212）が詠まれた和歌を宗歌と定めています。

<sup>つきかげ</sup>月影の <sup>さと</sup>いたらぬ里は <sup>ひと</sup>なけれども <sup>ひと</sup>ながむる人の <sup>つきかげ</sup>こころにぞすむ

法然上人は、お月さまの光を阿弥陀さまの私たちが救うはたらきにたとえておられます。闇夜にお月さまを見るとほっとします。まるで阿弥陀さまが、私たちの心の闇を照らしてくださるかのようです。お月さまの光が、いたらない里はありません。しかしながら、その月を自らが眺めて、美しさを感じなければ、その月の風情を味わうことはできないでしょう。それと同じように、阿弥陀さまの私たちが救ってくださるやさしさが、届かない人はいません。そのやさしさに気づき、南無阿弥陀仏とお念仏申す人の心にこそ、阿弥陀さまの真実のやさしさが染みわたり、ゆるぎない安心をいただけるのです。

さて、お月さまを詠んだ歌は、時代を問わず数多く残されてきました。その中で南原繁さんは、次の歌を詠んでいます。「わが母のいのちの終わり 見まもりて出でたる庭に 月照りにけり」。お母さまの臨終を見届け、ふと庭に出てみると、お月さまがあたたかく照らして下さっていたのでしょうか。その月は、今までに見たことがない、そしてこれからも決して見ることのできない、その瞬間しか拝めない唯一のお月さまであると思います。いつも私たちが照らして下さっているお月さま、人生の岐路にたつ時、格別の味わいをもって眺めることがあるのではないのでしょうか。誰にでも信仰の心はあります。それがうまく生き方に現れる人、そうでない人、それは環境や諸条件によってさまざまです。その信仰が生まれる環境のひとつにかけがえのない人の死があります。私たちは自身の死を体験することはできません。愛する人、身近な人の死を通して、はじめて死というものを実感するのです。自身の存在が限りあるものだと心底思うとき、信仰の心が芽生えるのです。



法然上人の「月影のお歌」は、信仰の心を芽生えさせて、お念仏の信心を育むためのお歌だと拝することができます。法然上人が生きておられた850年ほど前も輝いていたお月さま、今も変わることなく私たちに照らして下さっています。この世には、変わらないものなどありませんが、変わらないものや永遠なるものを感じることはできます。この秋の夜長、闇を照らすお月さまと阿弥陀さまを重ねつつ、今の我が身を見つめながら、お念仏のひとつときを持ちたいものです。

〈文：立花俊輔〉

ズッコケ尼さんの仏教こぼれ話②

## 〈さまざまな8月〉

こまきね きんしょう  
駒木根 琴生



猛暑つづきの夏が終わった。今までに体験したことのないほどの酷暑を味わった夏だった。

8月1日より5日間、総本山知恩院の輪番布教の役目をいただいた。36℃ 37℃と続き、京都でも観測初という40℃もあった。与えられた一室は、クーラーが整い、寝苦しい夜は無かった。しかし、廊下を出て、二三步歩くと、もう汗だくだ。中でも、10時半の日中法話は、数百人の熱気も加わり大変だった。汗かきでない私も、今回は汗の毎日だった。写経時の法話も含め光栄な重責を果たし終えた。部屋の横に大きな一本のサルスベリの花、仏教伝来に伴い、インドよりやってきたという花は、往来する汗まみれの私を見守ってくれていた。また、庭園内の蓮の花は、多くの参詣者を満開で迎えていた。御影堂修復の落成は、来年4月に近づいた。新善光寺も来年秋には、団体参拝を計画中である。



帰札して札幌の猛暑つづきに驚いた。数日後、京都の疲れのためかダウンしてしまった。咳・痰・熱も出て、慈啓会病院へ走った。ワクチンを打っていたので、肺炎は避けられた。外来点滴で楽になったが、例年のように動けず、皆さんに迷惑をかけた。16日の施餓鬼法要に参列し、色々な方々と再会できて幸いだった。

私事では、8日が実兄の十三回忌、28日は実母の二十三回忌だった。報恩感謝の思いで、兄弟一同集まった。26日のその日は、亡き長男の月命日だった。それぞれの偲ぶ心で「千の風になって」を合唱した。よき一日だった。

最後に、佛教大学の友人の話聞いてもらいたい。彼女は、西陣に織物会社を設立した韓国の御両親の一人娘である。信心深く、勉強熱心な彼女は、みんなから好かれていたが卒論が壁となり退学した。ご両親が亡くなり、会社倒産後、一人住まいを始めた。生来、心臓疾患の彼女は、心不全の手術をした。すぐ後、膠原病を併発した。23才の時だ。まもなく、脳の前頭葉に癌が見つかった。手術・抗癌剤治療を繰り返しがんばったが、取り除けなかった。令和に入った5月、このままでは危険なので手術しないと宣告された。彼女は、8月22日の手術を決めた。先述の知恩院滞在中、何度も彼女を励ましに出かけた。阿弥陀仏の他力にゆだねるべく、お念仏を称え続けた。30数kgしかない彼女は、手術に耐え抜いた。今は集中治療室だが、彼女の電話の声に快方へむかう確かさを感じて、ほっとしている。10月、京都の再会が楽しみだ。近日中の退院を願ってお念仏に励もう。

阿弥陀仏に 染むる心の 色にいでは 秋のこずえの たぐいならまし

## スリッパのデザインを募集します

新善光寺内でご利用いただいておりますスリッパを新しくするにあたり、デザインを募集します。現在のスリッパは写真のようにマークを入れておりますが、枠囲みした中に収まるデザインであれば内容は問いません。多くのご応募をお待ちしております。

### ●募集内容 スリッパにプリントするデザイン

### ●募集期間

2019年11月8日(金) 必着

### ●募集資格

どなたでもご応募できます。

### ●応募方法および応募条件（要確認）

- ①下記の応募先までメール、郵送にてご応募ください。  
応募用紙は新善光寺ホームページからダウンロードするか、お電話いただければ郵送いたします。
- ②応募するデザインは、未発表のオリジナル作品に限ります。
- ③採用されたデザインは、一部補作・修正を行う場合があります。
- ④応募にあたって要する費用は、すべて応募者の負担とします。
- ⑤作品の著作権等について、第三者から異議申し立て、苦情があった場合は、費用負担などを含めて応募者が対処するものとします。また、採用後でも作品の類似、盗作、または募集要項違反が認められた場合、採用を取り消す場合があります。違反作品による損害も応募者が対処するものとします。
- ⑥応募に当たり、ご提供いただきました個人情報は、今回の目的のためにのみ使用いたします。



### ●選定および発表

選定は新善光寺内で行ない、採用された作者には記念品を進呈します。

### ●作品について

- ①サイズは縦 35 mm × 横 55 mm に収まるようにしてください。
- ②デザインの内容は問いません。
- ③現在と同じ茶色素材のスリッパに、白色 1 色でのプリントになります。
- ④グラデーション（ぼかし）は使用しないでください。
- ⑤デザインのコンセプトをご記入ください。

### 〈応募先・問い合わせ先〉

〒064-0806 札幌市中央区南 6 条西 1 丁目  
新善光寺 担当 副住職

TEL : 011-511-0262 FAX : 011-511-4706

ホームページ : <http://s-zenkoj.com> Eメール : [s-zenkoj@crux.ocn.ne.jp](mailto:s-zenkoj@crux.ocn.ne.jp)



お寺の額縁を紹介します⑬

## 19 南無阿弥陀仏 (長谷川白羊 書)

浄土宗の檀信徒にとって、もっとも身近な言葉である「南無阿弥陀仏」。阿弥陀さまご自身が私たちに用意してくださったすてきな尊い言葉、それが南無阿弥陀仏です。阿弥陀さまは、生きとし生けるものが心から阿弥陀さまの国である極楽浄土に往きたいと信じ願い、南無阿弥陀仏と声を出して称えれば、必ず救ってくださる如来さまです。本年お亡くなりになられた長谷川白羊先生が揮毫されたこの「南無阿弥陀仏」を、お念仏の声する光明の間に掛けています。先生の作品は他にもお飾りさせていただいており、こちらはご遺族さまから寄贈されました。



## 20 法然上人往生之図



法事の会食や仏教講座（写経など）の会場として使われているお部屋の片隅にこの額があります。玄関を入って、2階の大広間です。法然上人が亡くなって、お浄土に往かれた姿が描かれています。この絵は、複製品でオリジナルは京都の大本山金戒光明寺こんかいこうみょうじにあります。多くのお弟子方が集まり、法然上人との別れを惜しんでいます。しかし、お念仏を申すもの同志は、たとえ後先はあろうとも、お浄土での再会は疑いようがないのです。やすらぎの世界であるお浄土は、真実の喜びに満ちているところなのです。

## シリーズ 仏事のおはなし

前回まで「お勤めのおはなし」を計18回にわたってお話してきました。  
今回からは浄土宗の年中行事についてお話していきたいと思います。

### 年中行事のはなし ①

皆さんのお宅でも年中行事と呼べる、毎年必ず行っている行事があると思います。また、働いている方々には職場の、学生さんは学校の年中行事があります。お寺においても毎年の行事があり、さらには宗派によって定めている行事もあります。今回からはそれらの行事についてお話していきたいと思います。

新善光寺の行事については、年頭に行事のご案内表を皆さんに郵送していますので、ここでは通仏教での行事、浄土宗の行事についてお話したいと思います。

#### ・浄土宗の年中行事

まず始めに、年中の行事を「表1」に示します。こちらは、浄土宗で定めている行事と各仏教宗派共通の行事を記しています。

月	行 事	月	行 事
1月	修正会・法然上人御忌	7月	記主忌
2月	節分会・涅槃会・鎮西忌	8月	孟蘭盆会（一部の地域は7月）
3月	善導忌・春季彼岸会	9月	秋季彼岸会
4月	宗祖降誕会・灌仏会（花まつり）・御忌会	10月	十夜会（10・11月）
5月		11月	
6月		12月	成道会・仏名会・除夜祭

通年行事 施餓鬼会・別時念仏会・写経、写仏会・毎月25日は「世界念仏の日」

表1 年中行事一覧

この表をご覧になって「意外に行事が多いなあ」と思った方もいるのではないのでしょうか。また、記載されているどのくらいの行事が、“どんな行事”であるかわかりでしょうか。

これらの中には、ご本山やその近郊の地域ではよく行われていて、一般の信者さんにも馴染みがある行事であっても、地方ではほとんど行われていない行事であったりします。

お彼岸やお盆（孟蘭盆）などは、ご先祖の供養を縁としてお寺にお参りするという事があるので、どこの地域でも馴染みがあります。一方、浄土宗の祖師たちの御命日の行事（御忌、鎮西忌、記主忌）などは初めて聞いたという方が多いのではないのでしょうか。

今回はこの寺報が「秋号」ということもあり、せつかくなので10月・11月の行事である「十夜会」から少し掘り下げてお話していきましょう。

### ・10・11月の行事「十夜会」

「十夜会」は「十夜法要」「十日十夜法要」「お十夜」「十夜念仏」「十夜講」とも呼ばれます。呼ばれ方は地域によって様々ですが、北海道では「十夜会」か「十夜法要」の呼び名で行われています（新善光寺では「十夜法要」としてご案内しています）。この行事は浄土宗の宗定法要のひとつで、「お念仏を称えて善根を積む」ための法要です。宗定法要とは、「信仰をたてるため、浄土宗として諸寺にお勤めを行うように勧める法要」という事です。

お念仏を称えることは、浄土宗の僧侶・信徒によっては日常的に行っていることですが、無量寿経という経典の中に「この世において十日十夜の間善行ぜんぎょうを行うことは、仏の国で千年間善行をすることよりも尊い」と説かれていることに注目し、日を定めしっかりと善行であるお念仏を勤めるとというのがこの法要の目的です。ですから、本来は「十日十夜」勤めるのが本義なのですが、現代では諸事情で十日十夜勤めることが困難なため、一座の法要として僧侶と信徒さんで一緒に勤めるとというのが一般的になっています。

さて、この「十夜会」、秋に行くとあって、秋の収穫のお祝い、感謝をするという事を阿弥陀様への「感謝のお念仏」に変えて勤めるという解釈をする場合もあります。前述の「善行のお念仏」とは異なりますが、歴史の中で法要意義の解釈も徐々に変わっていったということなのでしょう。いずれにしても、この十夜会を機縁としてお念仏の行に励むという事が本質だといえましょう。

浄土宗の各ご本山でもこの十夜会を勤めています。特に鎌倉の大本山光明寺の十夜会は有名で、中国五台山から比叡山、慈覚大姉 円仁に伝えられ、そこから京都の真如堂へ、さらに光明寺へと伝えられた「引声阿弥陀経」や「引声念仏」といった、旋律のついた経典読誦どくじゆ しょうみょうねんぶつ、称名念仏を勤めます。通常勤めない法要式でお経やお念仏を勤めることは、古来の習わしによることその他、その法要に威儀を持たせ信仰をたてる意義があります。新善光寺の十夜法要では、この旋律のついた称名念仏を京都の百万遍知恩寺ひゃくまんべん ち おん じに伝わる「双盤念仏そうばんねんぶつ」にて勤めています。

この秋、是非十夜法要にお参りいただき、皆様とご一緒にお念仏の善行を勤め、善根を積んでみませんか。

〈仏教体感〉

## “一緒に礼拝しませんか？”

**仏名会**  
**12月11日(水) 13時**

「南無阿弥陀仏」と唱えながらおこなう礼拝がメインとなる心身共に鍛錬できる法要です。どちらかというと実践型の法要かと思いますが、無理のない範囲（イスの上でも大丈夫です）でおこないますので、どうぞ是非ご参加ください。



## “大晦日に108回の鐘を鳴らしましょう”



**除夜の鐘 12月31日(火)**  
午後11時45分頃開始

寺院が近くに密集しているススキノでは、大晦日に各寺院が鐘を撞いており非常に情緒あふれる光景が見かけられます。昨年からはじめ好評を得た寺院スタンプラリーも今年も行う予定です。

新善光寺では鐘を撞いていただいた方に絵馬とお菓子をお渡ししております。年の瀬にススキノ寺院をはしごするというのはどうでしょうか。

## 〈行事報告〉今年も粋な催しをおこないました!!



9月13～15日まで近隣の寺院やホテルやギャラリーなどと協力して“鴨々川ノスタルジア”を開催しました。

新善光寺では“芸者衆の踊りを見る会”と“ヨガ(本号表紙)”をおこない、多くの皆様が訪れました。

## 《清璋寺から》

### 秋彼岸法要をおこないました！

9月22日（日）に恒例の秋彼岸法要をおこないました。

当日は天候も良く非常に多くのお檀家の皆様にお参りいただきました。



## 《納骨堂のご案内》

昨今、“墓じまい”という言葉をよくニュースや新聞などでみかけるかと思えます。

現に遠方のお墓から納骨堂へご遺骨を移すという方もおられます。

清璋寺では様々なタイプの納骨壇を用意しております。手稲山の大自然を眺めながらご先祖様にお参りすることができる納骨堂、オススメです！



札幌市手稲区西宮の沢5条1丁目19-35 清璋寺

**TEL 011-668-5110**

慈啓会から

## 慈啓会に新善光寺歴代住職の墓が！！

旭丘にある社会福祉法人札幌慈啓会の敷地内にひととき大きなお墓があります。近くでよく見てみると「新善光寺歴代上人之墓」と彫ってあります。

慈啓会は大正14年に2代目住職の林玄松師が札幌養老院として開設しました。昭和2年に財団法人化、昭和9年には救護施設の認可を受け、戦後、養老院は引揚者の戦災救護施設に指定され、診療対応を機に付属病院の認可を受けました。昭和27年に社会福祉法人の認可を受け、昭和47年に“社会福祉法人札幌慈啓会”と改称しております。

創設以来一貫して高齢化の進展を真剣に見つめ、札幌市におけるすぐれた保健・医療・福祉施設として、時代のニーズに合わせて幅広い活動しております。理事長は歴代住職が務めており、現在の理事長は新善光寺の現住職です。

このお墓は創設者である2代目住職遷化の後、3代目住職が昭和8年に建立したとされております。以後、歴代住職が祀られております。

毎年3月と9月のお彼岸の時期に、慈啓会職員が参列のもと、供養をおこなっております。



### 慈啓会総合相談室のご案内

介護についてご心配やお困りのことがあればお気軽にご相談ください。  
専門スタッフがご相談に応じます。(相談無料)

フリーダイヤル **0120-83-8291**

受付時間：8：45～17：00（土日祝は除く）

メール：info-jk@sapporojikeikai.or.jp

## 北縁 なんでも Q & A

いつも北縁をお読みいただきありがとうございます。今回もお葉書での投稿、写経会のご参加の方からのご質問にお答えしていきたいと思えます。

また、本紙添付のハガキでも引き続きご質問、感想を募集しています。どうぞよろしくお願ひします。

### Q お寺の境内にある「慈母観音」の説明をしていただきたいです。

A 境内地の南側に安置している「慈母観音菩薩」は、愛媛県西条寺市で見つかった「伊予青石」という天然石です。前住職の太田隆賢が北大勤務時代にご縁をいただいた方で、真鍋 岩太郎 氏 寄贈のものであります。石に白く浮かんだ模様が観音様に見えるという事で、遙々海を越え北海道の地に運ばれました。当寺報の23、24号の「新善光寺物語」にてご紹介しています。興味のある方は、ホームページからバックナンバーをご覧ください。

慈母観音とは観音菩薩の呼称のひとつで、幼子を抱いた様相をしています。その慈悲を慈しみ深い母親に譬えられたお姿と言われている。

### Q お仏壇の上に「天」と書いてあるのは宗派問わずですか？

A お仏壇は通常、「仏間」と呼ばれる部屋に安置されています。平屋であれば安置したお仏壇の上で人が生活をするという事はありませんが、現代の家事情ではむしろ平屋で家を建てるのが少なくなってきました。言うまでもなく仏壇にはご本尊が安置されていますが、本来仏様の上で人が生活をするという事はありません。しかし現代の生活の中では、なかなか環境を整えることが難しいので、仏壇の安置している天井部分に「天」や「雲」といった文字を貼り、「仏様の上には何も無い」という想定をするようになりました。これは宗派によっての違いはなく習慣ごとあり、ご本尊やご神体をおまつりする宗教（神道など）で行われている習慣です。

### Q 仏壇が用意できず、遺影と供花供物を供え供養している家もありますが、お仏壇は準備した方がいいのでしょうか？

A みなさんご周知のとおり、お仏壇にはご本尊が正面に奉られ、脇には法然上人と善導大師の両大師を奉ります。そして順にご先祖様のお位牌を安置していきます。それは阿弥陀様の極楽世界を可能な限り具現化した場所であり、お念仏やお勤めをつとめて信仰をたてていく大切なものです。そしてお浄土へ往かれたご先祖さまと対面し、手をあわせ気持ちを手向ける大切な場所でもあります。

以上の理由から、「出来得るかぎりご準備いただくべきもの」というのが回答です。しかし、お仏壇がご準備できない理由はいくつかあると思えます。よく伺うのは「家の中が手狭で家族も多く、お仏壇を安置するスペースが確保できない」というお話があります。たしかに都市部では人口が密集していることもあり、集合住宅などで生活をするには、お仏壇を安置する十分なスペースが確保できない場合はあると思えます。

最近ではワンルームのお部屋でも安置できるような小さなお仏壇も販売していますが、どうしてもお仏壇がご準備できないという方には、「ご本尊とお位牌を奉られてはいかがでしょう」とお話する場合があります。ご質問では遺影を位牌の代わりとして用いている印象ですが、亡くなられた方の依代はあくまでも位牌です。そして我々の信仰の根幹が「南無阿弥陀仏」のお念仏である以上、ご本尊はお奉りいただきたいものです。

## アライグマが出現！？

とある日の夕刻、中庭から何やら動く物体が……。よく見るとアライグマ！！人に慣れているのか結構近づいてきました。

時間が遅いので翌日にしかるべきところに連絡しようと思いましたが、翌朝見るともう姿はありませんでした。

なんとも不思議な光景でした。



## 東京別院 霊源寺から

東京別院霊源寺では9月26日に秋彼岸法要をおこないました。当日は新善光寺副住職の導師のもと、東京近郊在住のお檀家様もお参りに来られていました。

霊源寺では葬儀や法事やお盆参りなどのご供養も受け付けており、また納骨堂もございます。どうぞ、お気軽にお問い合わせください。



## 大光山 霊源寺

受付時間 9:00~19:00

毎日見学受付中

東急目黒線・不動前駅 徒歩7分(桐ヶ谷斎場真向かい)

〒142-0063 東京都品川区荏原 1-1-2 FAX:03-3494-6319

TEL:03-3494-1083

大光山霊源寺

検索

## 編集後記

今回は一部お休みした連載企画もありましたが、なんとか発行にこぎつけました。いつもギリギリになってからどんどん筆が進むというのをどうにかしたいところです。

さて、ラグビー W 杯効果か新善光寺にも多くの外国の方々が参拝に来られています。秋になるにつれ、境内の木々も鮮やかな色をつけていきます。どうぞ、皆様もお近くにお寄りの際はご参拝ください。

次回は1月発行予定です。

(真海)

※新善光寺の日々の情報は各種 SNS にて公開しております。どうぞ、そちらもご覧ください。そしてこの「ほくえん」のご感想もお待ちしております。

新善光寺

検索



# Hokuen 41

新善光寺寺報

## 北 縁

発行 / 2019年10月発行

発行責任者 / 新善光寺住職 太田真琴

〒064-0806 札幌市中央区南6条西1丁目 [TEL] 011-511-0262 [FAX] 011-511-4706

[ホームページ] <http://s-zenkoj.com> [Eメール] [s-zenkoj@crux.ocn.ne.jp](mailto:s-zenkoj@crux.ocn.ne.jp)